

起業家支援財団 事務局通信 NO.10

発行日 平成 23 年 7 月 20 日 (水)
発行 公益財団法人起業家支援財団
事務局 〒231-0003 横浜市中区北仲通 3 - 33
TEL 045-263-9222 FAX 045-263-9220
www.shienzaidan.or.jp info@shienzaidan.or.jp
発行責任者 小林孝雄 編集 羽田清



7月7日(木)に開催した関内フューチャーセンターのテイキングオフ・イベントの様です。大地震で中止になったオープニングセレモニーに代わる重要なイベントでしたが、横浜市、株主、地域商店街の重役様はじめ約120名の方々にご参加頂き、盛況裡にイベントを終えることができました。

今年の上半期は、いろいろのことが起きました。まず、社会的には、3月11日に東日本大震災が発生し、東北各県を始め各地に未曾有の大被害が起きました。特に、大地震、大津波に伴って起きた東京電力福島第一原発の事故は、電力の供給問題に加え、放射能汚染という対応の難しい、かつ長期間を要する事故となり、内外に大きな影響を与えております。

一方、当財団も出資し設立された関内イノベーションイニシアティブ(株) (以下K I I) についても、オープニングセレモニーを予定した3月11日が大地震の発生と重なり、スタートダッシュができませんでしたが、7月7日にテイキングオフイベントを開催し、120名余の参加者と思いを共感することができました。

また、当財団も、K I Iの起業家育成・支援の事業を受託し推進するため、K I Iが運営する関内フューチャーセンター2階に事務所を移転することにいたしました。

内外ともに課題山積の時ではありますが、常に原点に戻って道を確認しつつ、着実に事業を展開していきたいと思っております。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(副理事長 小林孝雄)

●財団の理事会・評議員会

公益財団法人として初めての決算、平成22年度(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)決算に関わる理事会・評議員会が開催されました。

当初、3月16日の開催を予定しておりましたが、3月11日の東日本大震災の発生に伴い、書面開催に変更して全員のご承認をいただきました。

●社会的企業育成支援事業コンソシアム(i S B公共未来塾)の進捗

平成22年4月から平成24年3月までの2年間にわたる内閣府からの受託事業も約半分を経過しました。この間、1月22日(土)からi S B公共未来塾第3期セミナー、4月16日(土)から第4期セミナーを開講し、4月2日(土)には第2回社会起業プランコンテストを行い15名の入賞者を決定しました。第1回、第2回の入賞者に対する起業支援の活動にも力を入れております。

また、7月23日(土)から第5期セミナーを開催します。

●関内イノベーションイニシアティブ(株)の設立

横浜市の関内・関外の業務機能再活性化施策に伴う横浜市都市整備局の公募事業に、社会起業家を中心としたインキュベーション施設の運営等を行う事業提案で応募し、昨年9月に受託が決定しました。その後、新会社設立の準備を進め、起業家支援財団、地域協働推進機構など設立母体の他、アルプス技研、プラットフォームサービス、地元企業などの出資を得て、関内イノベーションイニシアティブ株式会社(代表取締役 羽田清)を設立、6月17日には第1回目の定時株主総会を開催したところです。

横浜市中区北仲通3-33の共済会館ビルの1~2階、約540㎡を賃借し、社会起業家のメッカとなるよう起業家等の育成、支援に努めてまいります。メンターとしてご協力いただければと思います。

なお、7月7日に120名余の参加を得てテイキングオフイベントを開催しました。

●学生起業塾（第3期生、第4期生）の実施

第3期生の学生起業塾は、3月3日（木）、松井理事長の講演と塾生の報告などをもって終講し、第4期生35名の第1回学生起業塾は4月6日（水）、第2回は5月11日（水）に開講しました。また、それぞれの事業プランをブラッシュアップする恒例の学生起業塾合宿は8月23日（火）、24日（水）に葉山町にて開催予定で、講師には、葉山牛のブランドを立ち上げた酪農家の三留氏をお招きしています。来年4月からスタートする第5期生の募集も9月30日を締め切り日として、全国の大学あてに募集を開始しました。

●経営道場2010の終講

「起業家精神で経営を革新する」をテーマに昨年9月に開講した経営道場は、2月にエバラ食品工業社長の「私の経営スタイル」として故森村創業者の事績などを学び、3月5日（土）の最終報告会をもって全13回の日程を終了しました。最終回では、松井理事長から、「成功する経営判断の根拠について」と題して講話をいただき、受講生にエールが送られました。

●横浜市立大学寄附講座「起業家経営論」の開始

横浜市立大学の上半期の授業として、当財団と神奈川ニュービジネス協議会連名の寄附講座「起業家経営論」を4月14日（木）に開講しました。今回は、神奈川県内の7名の創業経営者の方々などに起業の思い、経営のあり様等について講演いただき、受講する約80名の学生達にアントレプレナーシップを理解いただく構成となっています。7月21日（木）に終講します。

●事務所移転に関連して

本年4月、今までお世話になった神奈川中小企業センタービルから、神奈川県中小企業共済会館の2階に事務所を移転しましたが、電話番号、FAX番号は従来と同じで変更はありません。

事務局から

iSB公共未来塾の研修セミナー、社会起業プランコンテストに関内フューチャーセンターの立ち上げ、事務所の移転とこの半年、忙しい日々が続きました。特に、記憶に残りますのは、東日本大震災の3月11日に、関内フューチャーセンターのオープニングイベントを予定し、その準備を共済会館ビルでしておりました時に地震が発生したことです。激しく長い揺れに驚きと恐れを痛感しました。その後、被害の大きさに驚愕いたしました。被災された皆様に深甚なるお悔やみとお見舞いを申し上げます。

節電の夏、一人一人、そして皆でこの難局を乗り越えたいと思います。財団一同、頑張っただけですが、皆様におかれましてもご自愛をお祈りしております。